## 経年変化から 生活リズムチェックシート

## <家庭学習時間のめやす> 10分×学年+10分以上

- 1 年生~20分以上
- 2年生~30分以上3年生~40分以上
- 4年生~50分以上5年生~60分以上6年生~70分以上

掛 け iţ,

	1日の平均学習時間(分)									
	1年	2年	3年	4年	5年	6年				
目標時間	20 分	30 分	40 分	50 分	60 分	70 分				
R 元.7	25.7 分	35.2 分	37.3 分	40.1 分	49.9 分	48.2 分				
R2.7	27.5 分	32.3 分	43.0 分	52.7 分	59.2 分	65.4 分	\ \			
R3.7	27.8 分	37.6 分	35.9 分	52.5 分	57.3 分	53.4 分				
R4.7	23.8 分	37.0 分	38.9 分	47.2 分	57.2 分	61.0 分				

学年が進むにつれ、順調に学年平均家庭学習時間は増えてきていますが、3 年生以上は、目標にはあ と少し足りていません。しかし、あくまで平均値です。

それでは、一人一人の学習時間を見ていきましょう。 赤い網掛け部分の児童は、目標時間を達成してい ます。青い網掛けの部分は、「学年×10分」にも足りていません。もう少し、がんばりが必要ですね。自分 は、どのくらい家庭学習しているか、夏休み前に振り返ってみて下さい。

(分)	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	R3	R4										
~10	5人	4人	3 人	2人	3 人	人0	0人	0人	0人	人 0	0人	0人
10~19	19 人	13 人	5 人	5 人	4人	9 人	3 人	6 人	0人	4人	3 人	1人
20~29	21 人	27 人	23 人	15 人	18 人	14 人	7人	4人	2 人	9 人	7人	3 人
30~39	10 人	14 人	16 人	17 人	15 人	17 人	5 人	8人	9 人	6 人	5 人	7人
40~49	4 人	2 人	9 人	9人	13 人	7人	10 人	17 人	11 人	10 人	7人	14 人
50~59	3 人	1人	2 人	4人	7人	2人	20 人	11 人	16 人	5 人	12 人	7人
60~69	1人	0人	2 人	2 人	6 人	0人	9 人	10 人	14 人	8 人	4 人	9人
70~	1人	0人	0人	4人	9 人	7人	6 人	7人	11 人	19 人	22 人	31 人

## 早起き・早寝・ストップ見放題

	昨年度		校内					
	今年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
早起き	R 元.7	73%	71%	74%	71%	75%	62%	71%
	R2.7	79%	74%	71%	68%	74%	63%	71%
	R3.7	79%	74%	71%	68%	74%	64%	72%
	R4.7	77%	76%	70%	71%	74%	73%	74%
早寝	R 元.7	68%	57%	63%	55%	59%	53%	59%
	R2.7	72%	65%	64%	58%	60%	45%	61%
	R3.7	72%	65%	64%	58%	60%	46%	61%
	R4.7	62%	65%	58%	59%	61%	55%	60%
ストップ・ ザ・見放 題	R 元.7	74%	69%	68%	63%	63%	53%	65%
	R2.7	69%	63%	61%	58%	63%	46%	60%
	R3.7	69%	63%	61%	58%	63%	47%	60%
	R4.7	67%	60%	55%	59%	54%	60%	59%

す。 夏休みもがんばって! この4年間で最も高い割合で

課題は、まず【早寝】ですね。ここ 4 年間、ほぼ変わらず、達成率は60%ほど。なかなか改善されません。生活リズムを整えることを夏休みは意識してほしいと思います。成長ホルモンが一番出るのは、午後10 時から午前 2 時。その時間に眠りについていることが大切です。成長のゴールデンタイムを生かしてくださいね。

それから、「ストップ・ザ・見放題」。6年生が昨年度と比べ健闘が光りますが、他学年は、昨年の自分たち、また同学年より下がっています。コロナ禍で外出や外遊びの減少から家で YouTube を見たり、オンラインで友達とゲームしたりすることが当たり前になりつつあります。成長段階での運動経験は非常に大切。子どものうちにしか身に付かない「目と体の協調運動」「バランス感覚」「筋肉と骨の固有感覚」を育てるためにも運動する習慣を身に付けてほしいと思います。意識的に運動する時間をつくりましょう。

## 寝る時刻が11時以降

起きる時刻が7時以降

が習慣付いた小学生では,ストレスからの回復力が下がるという研究 も発表されています。

また、体育以外の運動習慣が身に付いている子は、ストレスに対処する力が高いということです。

